



立川 徹 議員



次世代を担う人材を育てる教育環境の構築について

問 ①生活に直結するお金の基礎を学ぶ、金融リテラシー教育の取り組み状況について伺う。②子どもたちが自分の考えを自分の言葉で堂々と伝えられる力を育む、自己表現教育の取り組み状況について伺う。③令和6年8月から実証事業として始められたサッカー部の地域移行の進捗状況について伺う。

答 ①金融機関の職員を招き、

金融に関する出前講座などを実施した学校等がある。②授業の中で自分の考えを持ち表現する場面を適宜設けている。授業以外では、日頃考えていることを作文にしてスピーチをする中学生の主張大会や、県の魅力度を向上させるための取り組みを英語でプレゼンテーションすることも実施している。③昨年度は古河市サッカー協会に運営委託し、小堤サッカー広場を拠点として、延べ191人が参加した。本年度は総和中学校が加わり、計5つの中学校を対象に拡充を図りながら、活動している。

市民の暮らしに寄り添うスポーツ施設について

問 ①アーバンスポーツ施設の新設に向けた展望について伺う。

②子育て世代が利用する施設の利便性、サポート体制の強化について伺う。

答 ①11月3日のスポーツフェスタ古河2025でスケートボードの特設エリアを設置し、体験イベントを行う。それを踏まえた検証や、施設の在り方等を含め慎重に検討していきたい。②利用者の動向を注視し、便利で親しみやすいスポーツ環境の整備を目指して、計画的・効率的に進めたい。



スケートボードパーク（イメージ）



印出 慎也 議員



防犯について

問 新たな防犯対策として、意見集約型の防犯マップを提案するが、市の見解を問う。

答 危険箇所のマップの公表は、防犯灯や防犯カメラの設置につなげる効果があると推測する。

高齢化社会への対応について

問 大阪府大東市を参考にした健康体操を本市でも取り入れる

べきであるが、市の見解を問う。

答 大東市の事例等を参考にし、介護予防事業内容のリニューアルや、新たなプログラム導入等を検討し、持続可能な介護保険制度の運営に努める。

ブランド戦略「こがくらす」について

問 事業開始から数年経過したことから、これまでの実績と効果、本年度の取り組みを問う。

答 市民に古河市のよさを考えてもらうきっかけとして制作したブランドムービー「こがくらす」が令和6年全国広報コンクールの総理大臣賞のほか、多くのコンクールで受賞した。これを機に、日本一動画の上手な

まちを目指し、動画スクール実施や、本年度は合併20周年記念として市民参加型の動画コンクール「こがでくらすと」動画フェスを開催している。



小中学校の在り方について

問 小中学校適正規模、適正配置について、目的と課題を伺う。

答 児童生徒数が減少する中、良好な教育環境の構築と学校運営の効率化を図るために学校再編を進めている。保護者や地域住民との合意形成が重要である。